

2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年8月12日

上場会社名 松尾電機株式会社
コード番号 6969 URL <http://www.ncc-matsuo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 陳 怡光
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部門長 (氏名) 加藤功一
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6332-0871

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,395	9.7	123	25.7	116	27.6	78	38.8
2026年3月期第1四半期	1,272	22.3	166	93.1	161	103.3	128	111.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	20.49	—
2026年3月期第1四半期	40.05	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	7,570	3,718	49.1
2026年3月期	6,905	3,131	45.3

(参考)自己資本 2027年3月期第1四半期 3,718百万円 2026年3月期 3,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	8.1	300	9.9	270	3.1	150	34.2	39.12
通期	6,000	16.7	800	37.6	750	31.9	470	26.2	122.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	3,837,000 株	2026年3月期	3,210,000 株
期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,127 株	2026年3月期	3,069 株
期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	3,833,873 株	2026年3月期1Q	3,207,107 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の世界経済は、中東情勢の不安定化によるエネルギー供給制約や価格高騰等により先行きの不透明感が高まりました。また、日本経済は、中東情勢による様々な影響が懸念されるものの、改善傾向にある雇用情勢や賃上げを通じた所得環境の向上等によって景気は徐々に持ち直しの気配を示しつつあります。

このような環境のもとで、当社は、「更なる成長の追求」をテーマとした中期経営計画（2025年3月期から2027年3月期まで）の最終年度を迎えました。

当社のタンタルコンデンサ事業及び回路保護素子事業の売上高は、いずれも前年同期に比べて増加しました。

その結果、当第1四半期累計期間の当社の業績は、売上高につきましては、1,395百万円（前年同期比9.7%増）となり、損益につきましては、営業利益123百万円（前年同期比25.7%減）、経常利益116百万円（前年同期比27.6%減）、四半期純利益78百万円（前年同期比38.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① タンタルコンデンサ事業

タンタルコンデンサ事業につきましては、導電性高分子タンタルコンデンサ等の需要が増加しました。この結果、タンタルコンデンサ事業の売上高は879百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は68百万円（前年同期比5.1%減少）となりました。

② 回路保護素子事業

回路保護素子事業につきましては、カーエレクトロニクス向けやリチウムイオン電池向けの需要が増加しました。この結果、回路保護素子事業の売上高は481百万円（前年同期比19.1%増）、セグメント利益は182百万円（前年同期比5.1%減少）となりました。

③ その他

その他の売上高は34百万円（前年同期比26.9%減）、セグメント損失7百万円（前年同期比190.7%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加等により7,570百万円（前事業年度末比665百万円増加）となりました。

負債は、仕入債務の増加等により3,852百万円（前事業年度末比78百万円増加）となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等により3,718百万円（前事業年度末比587百万円増加）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年5月14日に公表しました数値から修正を行っていません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,527,728	2,127,691
受取手形及び売掛金	739,063	631,415
電子記録債権	167,546	106,876
製品	650,318	665,211
仕掛品	550,365	598,914
原材料及び貯蔵品	752,907	815,317
その他	40,430	27,773
流動資産合計	4,428,361	4,973,199
固定資産		
有形固定資産	2,199,154	2,328,618
機械及び装置（純額）	881,649	1,002,095
土地	687,308	687,308
その他（純額）	630,196	639,214
無形固定資産	35,914	27,055
投資その他の資産	242,318	242,099
投資有価証券	15,000	15,000
その他	227,318	227,099
固定資産合計	2,477,387	2,597,773
資産合計	6,905,749	7,570,973

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	251,472	320,227
電子記録債務	257,759	269,161
短期借入金	1,430,000	1,430,000
1年内償還予定の社債	22,600	22,600
1年内返済予定の長期借入金	146,606	144,484
未払法人税等	71,489	28,772
設備関係支払手形	261,912	270,134
事業構造改革引当金	36,240	18,624
その他	233,769	349,220
流動負債合計	2,711,848	2,853,224
固定負債		
社債	8,100	8,100
長期借入金	458,482	423,890
退職給付引当金	542,398	518,887
資産除去債務	7,908	7,908
その他	45,434	40,385
固定負債合計	1,062,323	999,171
負債合計	3,774,172	3,852,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,469,365	2,723,614
資本剰余金	552,439	806,688
利益剰余金	112,336	190,899
自己株式	△2,565	△2,624
株主資本合計	3,131,576	3,718,577
純資産合計	3,131,576	3,718,577
負債純資産合計	6,905,749	7,570,973

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,272,152	1,395,344
売上原価	860,815	1,002,682
売上総利益	411,336	392,662
販売費及び一般管理費	245,223	269,285
営業利益	166,113	123,377
営業外収益		
受取利息	56	667
受取配当金	550	800
為替差益	1,633	89
その他	861	484
営業外収益合計	3,101	2,041
営業外費用		
支払利息	7,759	8,553
その他	48	45
営業外費用合計	7,808	8,598
経常利益	161,406	116,819
特別利益		
固定資産売却益	—	109
特別利益合計	—	109
特別損失		
固定資産除却損	26	25
固定資産売却損	—	1,457
事業構造改革費用	—	15,032
特別損失合計	26	16,516
税引前四半期純利益	161,380	100,412
法人税、住民税及び事業税	32,934	21,850
法人税等合計	32,934	21,850
四半期純利益	128,445	78,562

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

当社は、2026年4月14日付で、釜屋電機株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が254百万円、資本準備金が254百万円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が2,723百万円、資本剰余金が806百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額(注) 3
	タンタル コンデンサ事業	回路保護素子 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	820,323	404,512	1,224,835	47,316	1,272,152	—	1,272,152
外部顧客への売上高	820,323	404,512	1,224,835	47,316	1,272,152	—	1,272,152
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	820,323	404,512	1,224,835	47,316	1,272,152	—	1,272,152
セグメント利益	71,847	192,328	264,175	7,741	271,916	△105,803	166,113

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルムコンデンサ事業です。
 2. セグメント利益の調整額△105,803千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務経理、管理部門等の一般管理部門に係る費用です。
 3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額(注) 3
	タンタル コンデンサ事業	回路保護素子 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	879,124	481,651	1,360,775	34,569	1,395,344	—	1,395,344
外部顧客への売上高	879,124	481,651	1,360,775	34,569	1,395,344	—	1,395,344
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	879,124	481,651	1,360,775	34,569	1,395,344	—	1,395,344
セグメント利益	68,191	182,533	250,725	△7,024	243,700	△120,323	123,377

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルムコンデンサ事業です。
 2. セグメント利益の調整額△120,323千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務経理、管理部門等の一般管理部門に係る費用です。
 3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	60,276千円	60,373千円